

# PDCAチェックシート

実施年度	令和4年度		担当課名	地域創生課
事務事業名	観光推進事業・シティプロモーション事業			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
<p><b>■目的</b> 観光基本計画に基づく各種観光振興事業を実施することにより交流人口を拡大し、地域経済の活性化へとつなげる。 また、地域活性化起業人プログラムを活用することによる観光推進体制の強化を図る。</p> <p><b>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</b> 【目標値】 令和6年度末時点で ○市内観光施設入込客 年間100万人</p> <p><b>【達成値(R4実績値)】</b> ○市内観光施設入込客 年間770,983人</p>	<p><b>■具体的取組</b> ○地域創生課SNSを活用した情報発信 ○観光パンフレットやマップの作成 ○旅行ガイドブックへの広告掲載 ○パンフレット類の設置場所の拡大 ○看板作成設置 ○津田SA案内コーナー設置 ○市観光協会ほか、各種団体負担金・補助金交付 ○地域活性化起業人によるPR活動</p> <p>観光協会と連携し、本市の魅力発信に努めた。</p> <p><b>■インプット(投入金額等)</b> <b>事業費等</b> 観光一般費 32,358千円 ○パンフレット等印刷 2,431千円 ○旅行ガイドブック広告 297千円 ○魅力発信事業委託料 2,462千円 ○観光PRコーナー使用料 (津田の松原SA上り) 264千円 ○市観光協会補助金ほか負担金・補助金 18,637千円 ○地域活性化起業人 7,638千円 ○その他 629千円</p> <p><b>■アウトプット(数量等)</b> <b>実施回数等</b> ○地域創生課SNS Facebook 投稿 747回 フォロワー数 1,196人(前年731人) Instagram 投稿 747回 フォロワー数 5,026人(前年3,016人) ○パンフレット等印刷 漫遊印刷 16,800部 観光マップ作成 15,000部 ○旅行ガイドブック広告掲載 発行部数(全国) 32,000部 ○観光PRコーナー使用料 (津田の松原SA上り) 1年間(R4.4-R5.3) ○地域活性化起業人によるPR活動 8回(11日)※関西圏</p>	<p><b>■成果指標の具体的検証結果</b> <b>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</b> 新型コロナウイルス感染症の影響を注視しつつ、市を訪れたいくなるような写真や動画を地域創生課SNSで発信した結果、Instagramのフォロワー数は5,000人を超えた。ほかにも、観光パンフレットを発行や旅行ガイドブックへの広告掲載により市の魅力発信に努めた。 また、8月にはさぬき市及び三木町と観光振興に関する連携協定を締結することで、それぞれが有する資源や特性を活かしながら東讃エリアのPRや観光客誘致に取り組み、主に関西方面の観光客から旅先として選ばれるエリアを目指す一助とすることができた。 市観光協会においてもスタンプラリーやフォトコンテストを開催し、観光誘客のための情報発信・プロモーションに取り組んだ。 引田ひなまつりが4年ぶりに開催されたこともあり、観光施設の入込客数は770,983人と前年度から約2割増加した。</p>	<p><b>■検証結果を受けての具体的対応</b> 新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が緩和されることにより、観光分野の地域間競争の激化が想定されることから、引き続き市観光協会をはじめ、東讃エリアやASAなどの広域連携を活用し情報発信の充実に努める。 市民や事業者向けにも魅力発信を行い、コロナ収束後の旅行者の受入体制強化を図り、東かがわの魅力を高めるプロジェクトや地域活性化起業人制度を活用し、さらなる市の魅力度アップや観光資源の磨き上げにつなげたい。 また、大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭が同時期に開催される2025年に向け、さらにしりと動物園やファクトリーツアーなど市内の観光コンテンツと連携し、観光政策やシティプロモーションを促進する。</p>	

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。